4
April 2013
第708号
平成25年4月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA

［特集］

商店街の元気づくり

昭和20年代の新宿商店街（露店の様子）

特集

商店街の元気づくり

少子高齢化や都市への人口流出、自家用車の普及など時代の変化からいくつもの商店が姿を消しています。先人が作り上げてきた商店街は私たちの生活の一部。商店街が活気づくことで地域がにぎわい、その盛り上がりが村づくりへつながっていきます。今月号では、宇都宮大学のワークショップと村商工会主催のワークショップの内容を紹介するとともに、「中心市街地の活性化」をテーマに座談会を行いました。まずは皆さんで話し合うことから――。



かつてのにぎわいを失った商店街

昭和三十年頃は人口八千人を超えていた鮫川村。昔は新宿地内の商店街で、夏は「盆市」、年末は「暮市」といった催しが開かれていました。子どもから高齢者までが買い出しのために商店街に集まり、活気がありました。

それ以降も中心地である新宿に限らず、各地域で小学校の周辺には商店があり、そこで子どもや地域の人が買い物をするという、そのような成り立ちがありました。

現在では、四千人を下回るまでに人口は減少。にぎわいをみ



道端に多くの店が並びにぎわいを見せていた昔の商店街（益市の様子）

せていた商店街も後継者不足や顧客のニーズの変化など、さまざまな理由から経営が困難となり閉店を余儀なくされる商店が増えています。そして、空き店舗や空き家が目立ち、寂しさを感じるようになりました。

この問題に直面しているのは鮫川村に限らず、全国各地で商店街が姿を消し、多くの市町村で対策が検討されています。鮫川村においても県事業を利用したワークショップなどを行ってきました。今後、住民の参加を得ながら空き店舗活用や買い物弱者の対応策などを検討していきます。



現在では、歩く人の姿を見ることが少なくなった新宿地内



座談会出席者

■対談者
湯坐和彌さん（赤坂中野区長）
齋須信子さん（赤坂中野字新宿）
鈴木市悠さん（赤坂中野字新宿）
関根政雄さん（商工会長）

■司会
我妻正紀村商工観光係長

※役職名については、３月18日現在

地域づくり座談会

中心市街地の活性化を考える

寂しくなってしまった商店街。
子どもから高齢者までが集まるような
場所にするためには…。
村商工会や地域住民の皆さんに
それぞれの意見を出し合ってもらいました。

何件もの店が並んでいた村の中心地・新宿

――これまで村の中心地として新宿があり、栄えていました。まずは、昔の生活の様子やにぎわいなどについてお話いただきたいと思います。

湯坐　昔は、村外に買い物に行くのではなく、地元の店を利用することが当たり前でした。また、精算は現金でなくても良かったんです。信頼関係というのかな。あの時代は、お互いを支え合って生活していたような気がします。

齋須　昭和五十年頃は、商工会女性部の会員が七十三人もいました。それだけの商店があったということですよね。通りには、何件もの店が並んでいました。文房具屋やとうふ屋、時計屋、呉服屋など、何でもありました。

鈴木　確か、映画館もありました。あの頃は今より楽しかったように思います。当時は八幡神社の下にやぐらを組んで盆踊りをやっていました。参道をぐるっと囲むほどの人が集まっていたのを覚えています。

「盆市」、「暮市」では、狭い道路に店が並び人が溢れている状態でした。

――関根さんは新宿周辺ではありませんが、当時、中心地はどのように見えていましたか。

関根　子どもの頃は、「お母さん・お嫁さんに感謝する会」や「文化祭」などの催しがあり、親に連れられて新宿に来ていました。すごい人の多さだったという記憶があります。食堂だけ

新宿・道少田・広畑地区集落点検・地域活性化ワークショップ

県が平成二十四年度に行った「大学生の力を活用した集落復興支援事業」に村の赤坂中野区と赤坂東野・石井草区が応募。宇都宮大学農学部守友ゼミナールの守友教授と学生、新宿・道少田・広畑地区周辺の住民が参加し、二回のワークショップを行いました。

一回目（十月十四日）は、「集落点検」として学生と住民が実際に集落内を歩き、集落の様子や魅力、課題などを探しました。二回目（十一月十七日）は、「地域活性化ワークショップ」として「集落点検」の内容をもとに、課題の解決策や地域づくりについて話し合いました。また、報告会が三月



住民から説明を受けながら集落を見て回る学生たち
（10月14日実施「集落点検」）

館山を中心に集落全体がつながる工夫が必要



湯坐和彌さん

でも何店舗もあり、正月の買い初めもすごいにぎわいでした。

生活の変化とともに衰退した商店街

――現在、村の商店街が少し静かになっている状態です。それぞれの立場から現状に対しての思いや考えられる原因などを聞きたいと思います。まず、中野区長さんはいかがですか。

湯坐　生活が豊かになったことで、人に頼らなくても生活できるようになってきました。利便性の良い所に行って買い物をするようになり、義理人情よりも自分の生活が優先されるようになったと感じます。今では「買い支え」というほどの考えや思いがあまりないのではないでしょうか。

齋須　鮫川村のような中山間地域では農業が基本です。農業が合理化されていくにしたがって商店街が衰退していったように思えます。昔は農作業も「結（ゆい）」が集まれば仕出しをしていました。しかし、そういったことが省かれていったことが商店街などにも影響していったのではないでしょうか。合理化によって義理人情や「結」などの絆がなくなってしまったんだと思います。

鈴木　昔は隣近所、隣保班などがありました。そういうコミュニケーションを今では面倒に思う人が増えたように感じます。昔のようにやっていれば、隣近所の協調性ができ、お互いに心を知り合いながら付き合っていくことができるでしょう。

齋須　新宿では、花見や旅行など、いろんな年中行事があり、密接な関係が続いていました。しかし、今ではそれも減ってきてしまい、本当に寂しいと思います。小さい集落や地域が小さい絆で結ばれていけば自然に大きなつながりになると思います。

鈴木　年中行事などをなくさないで続けていくことは大切です。

関根　商店街がにぎわっていた当時と今で違うのは、人口が減ったこと以外に生活にお金がかかるということです。ですから、後継者となるはずの若い人が商店を継がずに、収入を得るため外で仕事に就くというケースがあります。車社会となった今で

住民が元気になれば商店街や村に人を呼び込める



齋須信子さん

十日に行われ、学生たちの視点から提案などが述べられました。

■魅力
- 自然豊かで景観が美しい。
- 水質管理が行き届いていて、水がきれい。
- 子どもたちのあいさつが活発。
- 住民が先人や高齢者を尊敬している。
- 道路にゴミがなく、花壇も手入れされている。

■課題
- 過疎化・高齢化が進んでいる。
- 交通の便が悪い。
- 空き家増加による景観の悪化。
- 商店の数が少ない上、土・日・祝日は休業となるので、必要なときに必要なものが買えない。
- さびた看板や枯れ木・枯草、空き家など、さびれた印象を与えるものが多い。
- 舘山公園やオオムラサキなどの環境資源や観光資源を活用しきれていない。

■提案
- 交通問題に関して、デマンドバスの運用を提案。予約することで自宅までバスが迎えに来て、目的地まで直行するというシステム。
- 住民が既存の村の魅力にもっと目を向ける必要がある。すばらしい特産品や農村景観があるのに伝えきれていない。



鈴木市悠さん

空き店舗を活用し、誰もが心地いいと思える場所を

は、白河や須賀川などにも簡単に行けるようになったことも一つの要因ではないでしょうか。

また、昭和五十年頃までは、結婚式は村の公民館を利用していて、その仕出しなどで商店街は潤っていたという話を聞きました。今のように式場を利用するようになってから、だんだんと様子が変わっていきました。今では、葬式も式場になり、仕出し関係がさらに衰退していきました。

買い物弱者対策と人を呼び込める商店街に

――合理化によるコミュニティの衰退や人口流出などの課題がでました。これから明るい方向に向かっていくために、商店街がどのようになってほしいか、そのためにどんなことをしていくことが必要なのか、皆さんの考えを教えていただきたいと思います。

関根　この危機感はチャンスだと思います。「どうするんだ」と皆さんで考える機会です。

高齢化が進み、車が運転できないなどの買い物弱者対策が必要です。コンビニや大型店は電話一本で新鮮なものをすぐに配達してくれます。村商工会の商店でも配達できる体制をとっています。機動力があり、買い物だけでなく高齢者がコミュニケーションをとる機会となれば、少し高い値段だとしても、利用するのではないでしょうか。

齋須　何か話題になるようなことを新宿周辺から発信できたらと思います。

関根　盆市、暮市のようなものを復活させても面白いと思います。曜日や時間帯などを決めて定期的に手持ちしたものを売るなどして、道端に売り物が並んで人が集まればにぎやかになると思います。

齋須　そこで自分で作って余った野菜を売るのもいいと思います。住んでいる人が元気になるような話題をつくることで、そこに行ってみたいと思う人が増えて、村外からも商店街に人を呼び込めるようになればと思います。

鈴木　新宿の通りも、今ではほとんど人の通りもなくなって寂しく感じます。バイパスが開通したことで、さらに車の交通量も減るでしょう。これをどのように生かすかを考えなくてはいけません。

湯坐　バイパスができて通りが寂しくなるという心配もありますが、逆に良い面もあるのではないでしょうか。車の交通量が減るということは、交通安全面からみて市場や歩行者天国などがやりやすくなると思います。これもチャンスになるのかもしれませんね。

関根　現在、村商工会では「買い支え」の意識を持つ人を増やせるような仕組みを検討しています。また、皆さんが意見を言い合えるような環境づくりも必

・景観をより良く見せるために、さびれたものを撤去する。
・展示ギャラリーなどの維持コストがかからない空き家活用や積極的な人の誘致。
・伐採した木材を休憩所としてベンチなどに活用。
・舘山公園を中心とした人為的観光資源の活用。



住民と学生が気づいた課題などを模造紙に張り出し、一緒に解決策などを考えた（11月17日実施「地域活性化ワークショップ」）

村商工会 中心市街地活性化ワークショップ

村商工会が中心市街地活性化を考えるためのワークショップを開催しました。一回目（八月二十九日）は、「村づくりを考える」をテーマに鮫川村の自慢できるところや困っているところなどを出し合い、現状分析などを行いました。二回目（十月十二日）は、「村中心市街地のにぎわいづくり」をテー

担い手づくりが必要。人材が育てば商店街は活気づく



関根政雄さん



我妻正紀村商工観光係長

要で、地域の皆さんが提案したことを少しでも実現していく組織が求められると思います。

商工会としては、閉店する事業所に対して「辞めないでください」と言うことも役割かもしれませんが、これまで店を営んできたことに感謝を述べることも一つの仕事だと思います。無理にでも続けてもらうことはできません。あとは頑張ってやるという商店に対して支援をし、残っている商店の売上を少しでもあげることが商工会の仕事だと思っています。

商店街の活性化から村全体の活性化へ

関根　次の世代の担い手をつくることが必要だと思います。人材が育てば、今後、商店街を含め村が活気づいていくと思います。仕事などの関係で、村に居られないという人もいます。そういった人たちにも、頭の片隅にでも鮫川村のことを気にかけてもらえるような仕掛けを作らなければいけないと思います。村のファンクラブをさらに充実させてファンを増やし、外からも村を支えてもらえるようにならなければいけません。

齋須　関根さんの言うように、鮫川村のファンを増やすことが重要だと思います。村出身者は全国あちらこちらにいますが、そういう人たちに情報発信することが重要だと思います。ふるさとを誇りに思い、帰省する回数も増えてくるのではないでしょうか。それが商店街や地域のにぎわいにもつながるのかなと思います。

湯坐　先人に感謝する気持ちを形にして、後世に残るものを作ってほしいです。

宇都宮大学のワークショップで、学生から舘山はもっと利用価値があるという意見が多く出ました。「手・まめ・館」に下る散策道をもう少し整備して、舘山を中心に「手・まめ・館」と商店街、集落全体がつながるような工夫が必要だと思います。

鈴木　空き店舗を活用して、高齢者から子どもまで、誰もが心地いいと思える場所をつくってほしいと思います。

あとは舘山の景観です。見回って倒れている木などを手入れしていくことが必要だと思います。せっかくみんなで協力して植樹した木がダメになってしまっては、かわいそうですから。

――皆さんから出していただいた意見などを踏まえて、今後の中心市街地活性化策を検討していきます。本日は、ありがとうございました。

マに開催。中心地の機能の充実とコミュニティの維持のためにどんな商店や施設があればよいのかなど、空き店舗活用について話し合いました。

■**課題**

・担い手が少ない。
・村内に企業が少なく、働く場所がない。
・商店、品数が少なく、買い物できるところが少ない。

■**対応策案**

・村の中心地ににぎわいをもたらすことが重要。空き店舗を活用した複合型施設を検討。
・村商工会の充実（会員の拡大、経営改善、人材育成など）。
・住民の力を引き出すための場の提供と情報発信・共有の機能提供。
・買い支えや域内循環など住民と商店が互いに助け合うためのコミュニティづくり。



数名ずつのグループに分かれ、空き店舗活用などについて自由に意見を出し合った（10月12日実施のワークショップ）

特集2

平成25年度当初予算



全会計で
総額42億112万円（前年度比2.4％増）

震災・原発事故からの復興を着実に

平成25年度の村づくりがスタートしました。村では、平成24年3月に策定した「鮫川村復興計画」に基づき、東日本大震災および原発事故からの復興を着実に進めるとともに、第3次鮫川村振興計画の目標を実現するため、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度の予算は、一般会計が平成24年度より4.5％増の29億1,800万円、特別会計が1.9％減の12億8,312万円、総額42億112万円となりました。主な事業は、東日本大震災復興基金を活用した復興関連事業、定住促進住宅建設事業、災害復旧事業などですが、国・県補助金などを有効に活用しながら事業を進めていきます。（今年度実施する予定の事業については4・5ページに掲載しています。）

一般会計 歳入

復興基金の繰入により自主財源が26・8％増

一般会計の歳入で最も多いのは、地方交付税の14億48万円（対前年度比4729万円、3・3％減）で、歳入全体の48・0％を占めています。地方交付税を含めた依存財源のうち、前年度より最も減少したのが村債で、2447万円（8・3％）の減となりました。道路や施設の整備など事業費が大きい事業には、国や県からの補助金を活用しますが、今年度は国庫支出金が前年度に比べ2865万円（14・7％）増の2億2351万円、県支出金が前年度より4779万円（15・5％）増の3億5574万円となりました。国庫支出金は、村道鮫川中学校線の舗装工事や伏木田地内の定住促進住宅建設工事、県支出金は、青生野地区の住宅除染業務や農用地除染業務、保健センターの太陽光発電設備工事などを行うための補助金が増加したためです。

一方、自主財源は全体で前年度に比べ1億2646万円（26・8％）増え、5億9853万円となりました。これは、平成23年度に県から受けた交付金をもとに造成した東日本大震災復興基金を取り崩して各種事業に充てるためで、繰入金全体では、前年度に比べ1億2848万円（106・0％）増の2億4966万円となっています。

一般会計 歳出

除染業務の増加により物件費が約28％の増に

歳出のうち、目的別でみると民生費が前年度に比べ2962万円（5・0％）増の6億1738万円（全体の21・2％）で最も多く、公債費（13・8％）、総務費（13・4％）、農林水産業費（13・2％）と続きます。昨年より大きく増加したのが衛生費で、住宅除染業務委託や保健センターの太陽光発電システム設置事業が増えたことによるものです。

次に、性質別では人件費（22・2％）、物件費（19・3％）、公債費（13・8％）と続き、最も多く増えたのは物件費で、公債費、扶助費と続きます。物件費が増加したのは除染業務委託料が増えたためで、公債費は財源不足額の補てん分として発行が認められている臨時財政対策債の借り替えが増えたことによります。扶助費が増加したのは障害者自立支援給付費が増えたことによるものです。

【用語解説】■自主財源…村税（村民税や固定資産税など村の税金）や使用料（保育料や住宅使用料など）、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金。■依存財源…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金。■地方交付税…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金で、普通交付税と特別交付税がある。■繰入金…各種基金から繰り入れるお金。■村債（地方債）…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金。

■会計別予算の状況

会計別	予算額	対前年度比増減	伸び率(%)
一般会計	29億1,800万円	12,500万円	4.5
特別会計	12億8,312万円	△2,493万円	△1.9
国民健康保険事業勘定	4億7,034万円	△686万円	△1.4
後期高齢者医療	7,340万円	△590万円	△7.4
簡易水道事業	1億1,175万円	△497万円	△4.3
村営バス事業	712万円	12万円	1.7
集落排水事業	3,055万円	△24万円	△0.8
介護保険	4億2,361万円	△415万円	△1.0
交流施設	1,369万円	△6万円	△0.4
学校給食センター	1億1,809万円	△239万円	△2.0
後期高齢者医療	3,457万円	△48万円	△1.4
予算総額	42億112万円	10,007万円	2.4

■歳入予算の状況（一般会計）

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比増減	伸び率(%)
自主財源	5億9,853万円	20.5	1億2,646万円	26.8
村税	2億5,302万円	8.7	782万円	3.2
繰入金	2億4,966万円	8.6	1億2,848万円	106.0
諸収入	4,226万円	1.4	752万円	21.6
使用料及び手数料	3,774万円	1.3	132万円	3.6
その他①	1,585万円	0.5	△1,868万円	△54.1
依存財源	23億1,947万円	79.5	△146万円	△0.1
地方交付税	14億48万円	48.0	△4,729万円	△3.3
県支出金	3億5,574万円	12.2	4,779万円	15.5
村債	2億6,983万円	9.2	△2,447万円	△8.3
国庫支出金	2億2,351万円	7.7	2,865万円	14.7
その他②	6,991万円	2.4	△614万円	△8.1
計	29億1,800万円	100.0	12,500万円	4.5

※その他①＝分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰越金／その他②＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

■目的別歳出予算の状況（一般会計）

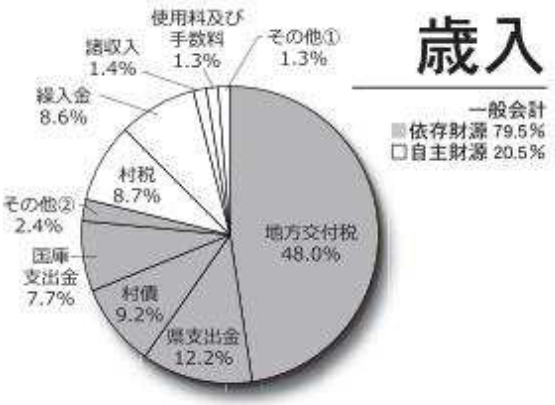
区分	予算額	構成比(%)	対前年度比増減	伸び率(%)
民生費	6億1,738万円	21.2	2,962万円	5.0
公債費	4億201万円	13.8	5,836万円	17.0
総務費	3億9,204万円	13.4	△6,167万円	△13.6
農林水産業費	3億8,473万円	13.2	△1,297万円	△3.3
衛生費	3億5,277万円	12.1	7,942万円	29.1
教育費	2億4,831万円	8.5	△828万円	△3.2
土木費	2億502万円	7.0	1,026万円	5.3
消防費	1億2,339万円	4.2	1,299万円	11.8
災害復旧費	6,231万円	2.1	△430万円	△6.5
議会費	5,169万円	1.8	△469万円	△8.3
その他	7,835万円	2.7	2,626万円	50.4
計	29億1,800万円	100.0	12,500万円	4.5

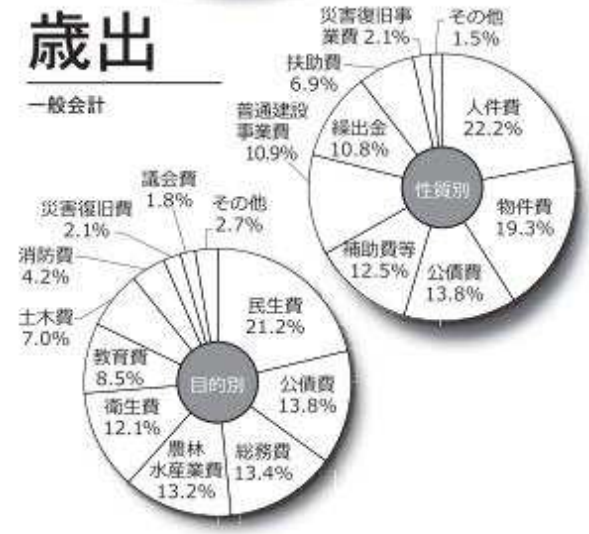
※その他＝労働費、商工費、予備費

■性質別歳出予算の状況（一般会計）

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比増減	伸び率(%)
人件費	6億4,758万円	22.2	△630万円	△1.0
物件費	5億6,181万円	19.3	12,186万円	27.7
公債費	4億201万円	13.8	5,836万円	17.0
補助費等	3億6,621万円	12.5	△1,568万円	△4.1
普通建設事業費	3億1,798万円	10.9	△2,522万円	△7.3
繰出金	3億1,467万円	10.8	△457万円	△1.4
扶助費	2億269万円	6.9	2,509万円	14.1
災害復旧事業費	6,231万円	2.1	△430万円	△6.5
その他	4,274万円	1.5	△2,424万円	△37.1
計	29億1,800万円	100.0	12,500万円	△3.0

※その他＝維持補修費、積立金、貸付金、予備費





特別会計

全会計合わせて前年比1・9％減に

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために予算を分けて独立して設けた会計をいいます。

村には、農業や商工業などの自営業者などが加入する「国民健康保険」（保険事業を運営する事業勘定と診療所を運営する直診勘定の2つからなります）のほか、水道を供給する「簡易水道事業」、村営バスあおぞら号を運行する「村営バス事業」、村中心部の下水処理を行う「集落排水事業」、介護保険事業を行う「介護保険」、ほっとはうす・さめがわを運営する「交流施設」、学校給食を提供する「学校給食センター」、高齢者が加入する「後期高齢者医療」の8つの会計があります。

特別会計全体の総額は、前年度に比べ2493万円（1・9％減）の12億8312万円となり、このうち前年度に比べ最も増減が大きかったのは、国民健康保険特別会計直診勘定の7・4％減となりました。

【用語解説】■人件費…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。■普通建設事業費…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。■補助費等…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。■物件費…委託料や消耗品、備品の購入などに使われるお金。■公債費…村債の元利償還金。■繰出金…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。■扶助費…高齢者や障害者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。■維持補修費…道路や公共施設などの補修に使われるお金。

使いみち

第3次鮫川村振興計画
【まめな暮らしを生かした村づくり】

H25予算

振興計画に基づく各分野のお金の使いみち（一般会計分）をお知らせします。

Vision2　＜農村の環境ビジョン＞

農村の景観の維持と活用を「まめ」な暮らしで

自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

①道路網・道路環境の整備

- ●村道・橋りょう維持管理事業（除雪作業、道路環境美化、維持補修工事、日陰林伐採、原材料支給など）　1,832万円
- ●村道側溝布設替工事（名下下野町線）【新規】　200万円
- ●村道側溝布設工事（宮沢西山線）【新規】　400万円
- ●村道新設改良事業（鮫川中学校線、壇ノ岡線）【新規】　5,100万円

②公園・緑地の整備

- ●舘山公園整備事業（記念植樹用苗木購入、遊歩道グランドデザイン委託【新規】など）　162万円

③水環境・環境の保全と再生

- ●簡易水道事業（簡易水道特別会計繰出金）　5,000万円
- ●不法投棄物巡回指導員設置事業　227万円

④水を大切にし、環境に配慮した排水の処理

- ●浄化槽設置整備事業（浄化槽15基設置など）　711万円
- ●集落排水事業（集落排水事業特別会計繰出金）　2,083万円

⑤地球温暖化の防止

- ●太陽光発電設備設置補助金　240万円
- ●森林環境税交付金事業（森林環境学習など）　412万円

⑥放射性物質除染対策

- ●除染対策事業（住宅用地除染、農用地除染、線量低減化活動支援事業補助金など）　1億457万円

⑦その他

- ●東白衛生組合・東白斎苑負担金　6,236万円
- ●宿ノ入地内治山施設工事【新規】　800万円

Vision1　＜農村の再生ビジョン＞

地域資源の活用を「まめ」に

独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

①環境と健康を食べる

- ●農産物加工・直売所運営事業（施設管理委託、農産物備蓄倉庫建築工事【新規】など）　4,769万円
- ●まめで達者な村づくりプロジェクト事業（アイディア料理コンテスト・郷土料理を楽しむ会開催など）　74万円
- ●ゆうきの里づくり事業（有機栽培推進、学校給食米栽培奨励、野菜冬季出荷対策など）　238万円
- ●中山間地域等直接支払交付金　1億509万円
- ●豊かな土づくりセンター運営事業（施設管理委託など）　646万円

②農村の景観と文化を生かす

- ●交流施設運営（交流施設特別会計繰出金）　472万円
- ●グリーン・ツーリズム推進事業（農村体験ツアー、鮫川の食PR活動など）　185万円
- ●農村交流施設（山王の里）管理委託　86万円
- ●東京農大連携事業　119万円


①


②


③


④

▶①平成25年度においても、グリーン・ツーリズム事業を推進し、村外に広く鮫川村の魅力を発信していく（写真は平成24年度に実施した東京都北区栄養グループ「食彩」の農村体験ツアー）。▶②災害発生時に被災者救護の拠点施設となる保健センターに、太陽光発電および蓄電池を導入することで停電時における電力供給体制を整え、万が一に備える。▶③定住促進住宅の建設を予定している伏木田地内の屋内ゲートボール場跡地。▶④平成25年度の除染は、青生野地区68戸の住宅周辺と、村内の水田および畑、採草地合わせて59.3ヘクタールを行う予定（写真は平成24年度に実施した鹿角平観光牧場除染）。

Vision4　＜農村の人くりと産業ビジョン＞

人づくりと地域産業の育成を「まめ」に

地域から世界を見ることができる人材を育成し、
消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

①学校教育の充実

- ●鮫川小オイルタンク改修・ＦＦ式ファンヒーター設置工事【新規】 686万円
- ●鮫川小放送室放送設備改修工事【新規】 275万円
- ●英語力向上対策推進事業（小学生宿泊研修） 173万円
- ●スクールバス運行事業 1,545万円
- ●学校給食事業（学校給食センター特別会計繰出金） 2,898万円

②生涯学習の充実

- ●放課後児童クラブ運営 343万円
- ●社会体育奨励費（体育激励金、村体育協会および ふくしま駅伝大会実行委員会への補助など） 282万円
- ●公民館空調設備工事【新規】 170万円
- ●公民館外壁塗装工事【新規】 1,100万円
- ●トレーニングセンタープール上屋鉄骨塗装工事【新規】 134万円
- ●トレーニングセンター消防設備改修工事【新規】 250万円

③安心安全、顔の見える農業の振興

- ●大豆振興対策事業（栽培者研修、生産奨励補助金など） 676万円
- ●米の全袋検査推進事業 1,178万円

④ふるさとの森を守り育てる

- ●松くい虫防除対策事業（被害木調査・伐倒駆除） 421万円
- ●森林整備地域支援交付金事業 217万円

⑤商工業の振興、雇用機会の確保

- ●緊急雇用創出基金事業（自然環境回復、農地除染有効作業の実践、農林産物モニタリング、豊かな心育成・支援） 2,648万円
- ●商工会支援事業（商工会への補助金） 469万円

⑥村の特徴を活かした観光

- ●観光振興事業（うまいもの祭り補助金、江竜田農村公園管理、ふるさとの四季カレンダー作成など） 539万円
- ●クロスカントリー事業（コース管理、改良工事など） 903万円
- ●鹿角平観光牧場施設管理事業（施設管理委託など） 216万円

⑦その他

- ●議会活動費（議員報酬、議会だより編集など） 4,293万円
- ●地方振興費（各行政区長等報酬、行政区への補助金など） 1,534万円
- ●過年度公共土木施設災害復旧事業（凍上災） 6,214万円
- ●公債費償還（借入金返済） 4億201万円

Vision3　＜農村の暮らしビジョン＞

生活安心を「まめ」な協力で

みんなが安心して生活できる村の実現

①安心生活ができる公共交通づくり

- ●地方バス路線維持対策事業（福島交通バス補助金2路線、村営バス特別会計繰出金） 1,090万円
- ●通学定期券補助事業 100万円

②多様な暮らしの工夫

- ●定住促進住宅（伏木田）整備事業 8,100万円

③火災と災害への備え

- ●非常備消防費（消防団員報酬、公務災害補償など） 2,132万円
- ●消防施設整備事業（消防ポンプ自動車ほか） 2,573万円
- ●広域消防運営費（白河地方広域圏常備消防負担金） 6,968万円

④安心安全の地域づくり

- ●交通安全・防犯対策事業（交通教育専門員設置、交通安全用品購入、防犯灯設置・修繕ほか） 359万円

⑤安心生活ができる保健・医療・福祉の充実

- ●住民健康診査事業（健診業務委託など） 1,395万円
- ●予防接種事業（高齢者インフルエンザ予防接種など） 769万円
- ●保健センター太陽光発電設備工事【新規】 2,950万円
- ●村民保養施設運営事業（施設管理委託） 1,000万円

⑥安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実

- ●社会福祉協議会活動費補助金（法人運営） 2,210万円
- ●高齢者総合福祉センター居住棟運営事業（施設管理委託） 500万円
- ●高齢者生活支援事業（在宅高齢者お助け事業、紙おむつ給付、緊急通報システムなど） 827万円
- ●敬老祝金支給事業・敬老会開催 582万円

⑦子育て支援体制づくり

- ●こどもセンター運営事業（施設管理、通園対策、子育て支援、保育園・幼稚園運営） 1億7,491万円
- ●児童手当 6,300万円
- ●乳幼児紙おむつ給付事業（月 5,000 円） 282万円
- ●出産祝金支給事業（50,000 円） 125万円
- ●乳幼児・妊産婦医療費助成事業 1,683万円
- ●小児インフルエンザ予防接種事業【新規】 100万円

⑧障害者の支援体制づくり

- ●障害者福祉事業（障害者自立支援給付費、地域生活支援、補装具給付、鮫川福祉会への補助など） 1億558万円
- ●重度障害者支援事業（重度心身障害者医療費など） 888万円

村民１人あたりに使われるお金は733,166円（前年度比44,557円増）です。

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	155,121円（10,210円増）	教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	62,389円（873円減）
公債費	地方債（村の借入金）を返済するためのお金	101,008円（16,281円増）	土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	51,513円（3,495円増）
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	98,503円（13,357円減）	消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	31,003円（3,785円増）
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	96,666円（1,388円減）	災害復旧費	災害により被災したさまざまな施設を復旧するためのお金	15,656円（767円減）
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	88,636円（21,243円増）	その他	商工業の振興、雇用確保、議会運営などのためのお金	32,673円（5,931円増）

※一般会計のみ。H25.3.1 現在の人口3,980人で計算

4月1日から 予防接種の一部が変わります

問い合わせ●村住民福祉課健康係☎49-3112

「定期予防接種」および「任意予防接種」の一部の取り扱いが4月1日から変更になります。なお、感染症からお子さんの命を守るために、期間内に予防接種を受けさせてください。

また、「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブ（Hib）ワクチン」「小児肺炎球菌ワクチン」が任意接種から定期接種に変更となり、自己負担金が無料となります。

■予防接種の変更

種別	区分	改正前		改正後
結核（BCG）	対象年齢	生後6カ月まで		生後1歳まで 標準：5カ月から8カ月の間に接種
	接種方法	生後3カ月から4カ月児健康診査で集団接種		接種できる医療機関で個別接種 ※事前に確認してください
はしか・風しん	対象年齢	1期	生後12カ月から24カ月まで	変更なし
		2期	5歳から7歳未満	変更なし
		3期	中学1年生	廃止
		4期	高校3年生	廃止
子宮頸がん	対象年齢	中学1年生から高校1年生の女子		小学6年生から高校1年生の女子
日本脳炎	対象年齢	平成7年6月1日から平成19年4月1日の間に生まれた方		平成7年4月2日から平成19年4月1日の間に生まれた方
	平成19年4月2日以降に生まれた方は、次の期間に接種してください。 ▶1期（初回・追加の計3回）…3歳から7歳半まで ▶2期（1回）…9歳以上13歳未満 ※7歳半から9歳未満に接種した場合は、全額自己負担となります。			

定期接種　予防接種法に基づき、国が受けるよう勧めているもので、接種対象期間内であれば無料です。※期間以外に接種する場合は全額自己負担となります。
任意接種　親（保護者）の判断で接種するもので、原則自己負担となります。
※接種費用の一部が助成されるものがあります。

住宅用太陽光発電システム設置に補助金を交付します

村では、住宅用太陽光発電システムの設置者に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

補助対象者　次の3つの要件を全て満たす方　▼自らが居住または居住しようとする住宅に太陽光発電システムを設置した村民（借家を除く）▼平成24年度以降、太陽光発電普及拡大センター補助金の交付申請をし、同補助金の申込受理決定通知または交付決定通知を受けている方▼電力会社と電灯契約及び太陽光発電余剰電力需給契約を結んでいる方

補助金額　1キロワット当たり4万8千円（5キロワット・24万円を上限とします）

申請に必要なもの　▼補助金交付申請書▼太陽光発電普及拡大センターの補助金申込受理決定通知書または補助金交付決定通知書の写し▼工事請負契約書の写し及びシステムの設置に係る領収書・内訳書の写し▼電力会社からの「太陽光発電余剰電力需給契約確認書」の写し▼システムの公称最大出力の合計値が確認できる書類の写し▼設置カラー写真（設置前・設置後）

■申請・問い合わせ　村企画調整課企画振興係☎49-3115

第5回

鮫川村フォトコンテスト 作品募集

■**テーマ**
村内の美しい風景や農村景観、年中行事など、季節感がありカレンダー使用にふさわしいものを募集します。

■**作品受付時期**
平成25年11月中旬（予定）

■**表彰**
▼特選（1点）…賞金5万円
▼準特選（2点）…3万円
▼入選（9点）…1万円
▼佳作（5点）…5千円
※入賞作品については、後日原版（銀塩写真の場合はネガ・ポジ・スライドを、デジタルカメラの場合はJPEG形式で保存したCD）を提出していただきます。

■**撮影地域**
鮫川村内に限ります。

■**応募規格**
作品は横版でカラー四つ切またはワイド四つ切、A4版とし、平成24年1月1日から平成25年11月中旬までに撮影したもの

■**応募資格および条件**
▼居住地（村内・村外）、プロ・アマは問いません。
▼応募いただいた作品の著作権は鮫川村に帰属します。
▼応募作品は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、応募用紙に返却方法を記入の上、返信用封筒に切手を貼ってコンテスト係まで送付してください。※入賞作品については展示のため返却しません。
▼応募作品は、本コンテストおよび他のコンテストに応募されたものは除きます。
▼入賞作品は、鮫川村ふるさとの四季カレンダーや村ホームページ、各種パンフレットに使用します。
▼応募点数は1人3点までとし、入賞は1点とさせていただきます。

■**審査発表**
11月（予定）に審査し、入賞者に通知するとともに後日表彰式を行います。

問 村企画調整課商工観光係☎49-3115

土づくりセンター開所式

村内産の堆肥づくり始まる

村の農業振興と資源循環型社会の形成に向けて、その中核を担うバイオマス変換施設「鮫川村豊かな土づくりセンター・ゆうきの郷土（さと）」の開所式を2月28日、同施設で開催。村関係者や畜産業関係者、地域住民など約50人が出席し、開所を祝いました。

大樂村長が式辞を述べたあと、同施設の愛称が披露され、命名者の舟木久さん（赤坂西野字岡田）に感謝状と副賞が贈られました。式終了後には、有限会社関根ファーム（西山）の関根靖さんと土づくりセンター職員による堆肥製造実演会が行われ、出席者は切り返し作業を見学したほか、作業工程や施設の設備などの説明を熱心に聞いていました。

堆肥が製品となるまでには約4カ月程度かかる予定で、完成品は土づくりセンターおよび村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で販売する予定です。



テープカットを行い開所を祝う関係者


感謝状を受ける愛称命名者の舟木久さん

むし歯のない子は３人
２月19日実施の３歳児健診

２月19日に村保健センターで実施した３歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児５人中３人でした（写真）。



須藤 蒼天（まひろ）くん
①西山字水口／②父・勝久さん、母・真澄さん／③毎日、夜の仕上げみがきを泣かずにがんばりました。



金澤 莉子（りこ）ちゃん
①渡瀬字木之根／②父・和幸さん、母・幸恵さん／③お姉ちゃんと歯みがき体操の歌を歌いながらがんばりました。



塙 夏歩（かほ）ちゃん
①赤坂西野字火打石／②父・邦雄さん、母・まゆみさん／③寝る前の仕上げみがきと糸ようじを嫌がらずにがんばりました。

①住所／②保護者／③むし歯にならないために頑張ったこと

自己と桜の成長を願う
小・中学生が卒業記念植樹



丁寧に植樹を行う卒業生たち

今年３月に卒業を迎えた小・中学生の卒業記念植樹は２月28日、舘山公園で行われ、青生野小６年生３名と鮫川小６年生31名、鮫川中３年生34名が参加しました。子どもたちは舘山公園の「記念植樹の森」にオオヤマザクラ５本を丁寧に植えました。

薪割りや凍み餅作りを体験
東京農業大学里山景観保全活動



薪割りをする学生たち

東京農業大学の第79回里山景観保全活動は３月８日から10日までの３日間、村内で行われました。活動には、学生16人が参加。小林輝男さん（葉貫）の指導を受けて、雑木伐採や薪割りなどを体験したほか、保存食の凍み餅作りを学びました。

長年の功績を称えて
中川西好幸さんが旭日単光章を受章



叙勲を受けた中川西さん（中央）

満88歳を迎え、高齢者叙勲の旭日単光章を受けた元村議会議員の中川西好幸さん（遠ヶ竜）に対する叙勲伝達式は３月１日、役場村長室で行われました。

中川西さんは昭和46年から昭和57年までの３期12年、村議会議員を務められました。

村政TOPICS

アイディア料理レシピ集を作製

村では、「まめで達者な村づくり」事業の一環として平成16年度から実施している「アイディア料理コンテスト」の入賞作品を集めたレシピ集を作製し、村内全世帯に配布しました。

レシピ集は、財団法人地域活性化センターの「移住・交流による地域活性化支援事業」の助成を受けて作製。フルカラー印刷で、大豆、じゅうねんなど村内の食材を使った１２１の作品のほか、第３回目から審査委員長を務めている山際食彩工房（会津若松市）・山際博美代表のコメントも掲載されています。

ぜひ、ご家庭でのメニュー作りに、このレシピ集をお役立てください。



作製されたレシピ集

ほっとニュース

思い出の学び舎を巣立つ
村内小・中学校で卒業式

村内小中学校の卒業式は、鮫川中学校が３月13日、青生野・鮫川両小学校では、同22日に各校体育館で行われました。

鮫川小学校では、31人（男子13人、女子18人）の児童が晴れて卒業。八代之宏校長から卒業生１人１人に卒業証書が手渡されました。

また、青生野小学校（石山公子校長）では3人（男子2人、女子1人）、鮫川中学校（佐藤勝久校長）では34人（男子20人、女子14人）が、思い出多い学び舎を巣立ちました。







1　在校生に別れの歌を贈る卒業生（鮫川小学校）
2　退場する卒業生に在校生と保護者が拍手で祝う（鮫川中学校）
3　石山校長から卒業証書を授与される卒業生（青生野小学校）

28人が新たな旅立ち
県立修明高校鮫川校卒業証書授与式



28人が学び舎に別れを告げた卒業式

県立修明高等学校鮫川校の卒業証書授与式は３月１日、同校体育館で行われ28人が学び舎を巣立ちました。式では、卒業生１人１人に青山校長から卒業証書が手渡されました。青山校長の式辞に続き、来賓の大樂村長らが祝辞を述べ卒業を祝いました。

卒園児がダンスを披露
さめがわこどもセンターで幼稚園卒園式



保護者に感謝の言葉を述べる卒園児

平成24年度幼稚園卒園式は３月21日、さめがわこどもセンターで行われました。式では、第１部として卒園証書授与式が行われ、卒園児35人（男子23人、女子12人）に菊地園長から卒園証書が手渡されました。第２部では、卒園児がダンスや歌を披露しました。

村政TOPICS

万が一に備えて 火災防御訓練を実施

全国春季火災予防運動期間中の３月３日、火災防御訓練が赤坂東野字広畑地内の村民保養施設「さぎり荘」付近で行われました。

「異常乾燥気象下、さぎり荘の薪ボイラーが異常燃焼をおこし、出火。さぎり荘および山林へ延焼拡大した」との想定で、棚倉消防署鮫川分署と村消防団により、通報から出動、放水などの消火訓練が繰り広げられました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。

また、訓練終了後には棚倉消防署鮫川分署員の指導で、地域住民を対象とした「消火器および消火栓の取り扱い訓練」を実施。火災発生時の初期消火の重要性を再確認しました。



放水訓練を行う消防団員

村民【随想】リレー ― 177

藤田芳明さん

冬から春に

新しいことが始まる時期です。季節を感じとれる環境で仕事をしている私は、季節の変化を植物や動物で知るのです。

昨年は、満開のさくらに雪が舞いきれいな光景を見ることができ、雪の恩恵と煩わしさを大いに感じました。

「かどぐし」の長い我が家では雪掃きがすごく大変ですが、息子たちは積極的に手伝ってくれます。五人で二時間以上かかることもありますが、雪のない道路は気持ちいいものです。小中高校生の息子たちは私より頑張って掃いてくれ、年々、子どもの成長を頼もしく感じます。

雪が積もると子どもたちをスキー場に連れて行き一緒に滑るのが楽しみの一つで、冬の家族行事となっています。兄二人は私の指導の下、スノーボードを始めました。

今季は、スキー場の天候にあまり恵まれず、チャレンジスクールのスキー教室では、朝から大雪で帰りは吹雪に巻き込まれましたが、とても楽しい思い出ができました。

部活や仕事のためスキー場になかなか行けませんが、春になったら山菜を探しに出かけたいです。

■

次は、鈴木章弘さん（赤坂東野字蔵ノ草）にバトンタッチ！



ふじた・よしあき●昭和43年11月生まれ。赤坂西野字岡田在住。水啓木材㈱（古殿町）勤務。趣味はウィンタースポーツ。「笑いが一番」を心掛けている。

俳句

紅梅やきょうだい遊ぶ花見山　中井　恒峯
雪曇り除染処理場定まらず　松本　精一
けがのネコひざに抱きて春を待つ　黒田　寿香
朝起きて窓を開けると銀世界　小松ハル工
うめさくやなこそフクシマなわすれそ　土　竜庵
指編みを教えてくれたお茶目な子　斎須　信子
息白く朝練の子ら駆けぬける　鈴木　米子
雪解けを待ちて切り枝片付ける　北條素人坂
酒蔵の須布索内四温かな　山本　恵子
孫が舞う扇の手さばき一文字　前田　縫子
めくれば三月陽光も風も柔らかし　山本五十鈴

短歌

避難所は古里ですという老婆「故郷」を唄う目を潤ませて　鈴木イミ子
どうでもいいような人が選ばれて組織という名の恐ろしさ知る　前田　初
老クなる研修旅行に参加して華やぐ日々に若返りたり　佐藤　春枝
燕にはつばめの言葉飛来してしきりに鳴くは挨拶ならむ　矢吹　定子
春という季節の重み寒き風吹けども木々の芽は膨らみて　須藤　幸子
わが作る物の味わい一しおに温さに匂う　冬の食卓　水野　珠子
人影を幹に重ねて夕闇の訪れ早しものの寂しさ　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 10

今年も開催決定「鮫川ふるさと春まつり」



鮫川村ふるさとネットワーク委員会

参加団体９団体

毎年、ゴールデンウィークに村内数カ所にイベント会場を設けて開催している「鮫川ふるさと春まつり」。平成九年から催され、これまでに十五回を数えます。村内外から多くの人が集まり、ゴールデンウィークの恒例行事として親しまれています。

この春まつりの企画運営を行うのが「鮫川村ふるさとネットワーク委員会」。村内の任意団体などで構成し、団体間の情報交換や連携、ネットワークを形成するとともに、交流事業などにより地域活性化を推進することを目的としています。

平成二十五年度は、五月三日から五日までの三日間の開催が決定。団体ごとに趣向を凝らしたイベントを企画していますので、ぜひお出かけください。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎ 49-3106

展覧会いまだ準備中

（山本幸久著、中央公論新社）



学生時代は応援団だったという変わり種の美術館学芸員「今田弾吉」。個性豊かな先輩たちにこき使われ、目の前の仕事に追われる日々を送っていた。しかし、あることから弾吉の心に何かのスイッチが入ったのだった。

もりのかくれんぼう

（末吉暁子著、偕成社）



近道しようとしたケイコは見たことのない森の中へ入ってしまった。「もりのかくれんぼう」という男の子と出会い、動物たちとかくれんぼうをすることに。森の中には楽しいかくし絵がいっぱい描かれている。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

運命という人生も否定せず仰げば白し　冬の三日月　　溝井　清乃
寒さ等吹き飛ばしたな若き日は今は茶の間に浸りいるのみ　　坂本　伊紀
覚え来る恩義の一つ今日も又灯に点す「報徳」の文字　　一平　子
仄かなる春の陽を受け照り映える夫手入れせし庭の黒松　　石井　幸子
日溜まりにすみれ可憐な花開き我に囁く春が来たよと　　須藤シツエ
偽政者がいかにあやつる列島を内外多難な荒波の中　　松本　一郎
今更に悔やむ骨折不注意の畳の上にも思わぬ事故あり　　前田喜三子
主亡きステック部屋の片隅にひそと立てある今日も動かず　　藤田千代子
移り行く季節を払う風荒れて雨音はげし春のあさなり　　関根ハナヨ
春一番吹けば里野は賑やかな小鳥さえずり小枝に飛び交う　　関根　富久
幼児バス目がけて走る子等の声テンション高く春告げるがに　　鷲野谷　満
春一番吹く風やわく吾が頬をなぞりて過ぎぬ庭に立つ日の　　板橋　源良
夫逝きて三年過ぎたるこの冬も夫焚きくれし炭に温もる　　関根キヌ子
何年ぶり万年筆のインクの香り小刻みの文字もなぜか懐かし　　矢吹　一二
雪残る川辺に芽吹く猫柳色やわらかに流れに映える　　北條　平



大きな作品を作ることが好きというタカ子さん。部屋を華やかに彩ります

むらの
名人・達人
Vol. 9



花びらを１枚１枚作り、それらを重ね合わせて１つの花を作っていきます

クレイクラフト名人
高杉タカ子さん
たかすぎ・たかこ／赤坂東野字大竹在住／67歳

形や彩りで感性を表現
生活空間に作品を飾れることが幸せ

退職後、「何か趣味を持とう」と思い友人に勧められたことがきっかけで「クレイクラフト（粘土工芸）」に出会ったという高杉タカ子さん。石川町にある教室に通い始めて十二年になります。

「最初は、不器用な私にできるかなと思いましたが、始めたら楽しくて仕方ありません。生活空間に自分で作ったものを飾れることがとても幸せに感じます」と笑顔で話します。

材料となる樹脂粘土で花びらや葉を一枚ずつ作り、乾いた花びらを重ね合わせ、アクリル絵具で色を付けていきます。そして、一本一本の花と葉を組み合わせて花束を作ります。さらに器を石粉粘土で作って作品が完成します。

本物に近づけるためには色かけ作業が重要と話すタカ子さん。「一枚として同じ花びらや葉はないので、微妙な濃淡を付けたりします。この色かけ作業で作る人の感性が出ると思います。形や彩りで自分の感性を表現できるのが魅力の一つですね」

後々は鮫川村で教室を開きたいと考えているタカ子さん。「みんなで作品づくりを楽しみたいです」と話してくれました。

若者の広場　No.100

Young Plaza

矢吹由香さん

若い人が集まるような村に



やぶき・ゆか
平成３年８月25日生まれ　21歳
Ａ型　おとめ座
趣味は料理、お菓子作り
赤坂東野字遠ヶ竜在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

夢中になっているというより、今は生まれてくる子どものことばかり考えていますね。休日などはベビー服や哺乳瓶などのベビー用品を見てまわっています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

これから母親になるので、あまり厳しくせず優しく子どもに接することができる母親になりたいです。子どもは元気に育ってくれれば、それでいいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

道が悪い所があったり、携帯電話の電波が入りにくかったり、コンビニがなかったりと不便に思います。でも、豊かな自然は鮫川村の良いところだと思います。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

もっと若い人が増えてほしいです。自然もあってイベントも一生懸命やっているのにもったいないと思います。誰でも入れるアパートや働く場所、お店ができるといいと思います。

■

次は溝井明菜さん（赤坂東野字大竹在住）の予定です。

学校だより

（102）

鮫川中学校編

生徒会総会で活発な質疑応答

生徒会総会は二月二十五日に行われました。生徒会会計決算報告および予算案、各委員会や部活動の報告や提案、質疑・応答を経て採決がありました。質問する生徒もたくさんいて、さらに充実した学校生活を送るための意識を持つきっかけとなりました。



生徒会総会

卒業生による記念植樹

二月二十八日に館山公園に桜の苗木を植樹しました。郷土意識や地域社会との連帯感、植樹した花木の成長を通して、自己の成長を振り返ることをねらいとしています。二十年後、三十年後にどのような花を咲かせてくれるのか楽しみです。



クラスごとに植樹をした生徒たち

第66回卒業証書授与式 34人が学び舎をあとに

三月十三日、卒業式は一面式の厳粛な中で行われ、三十四人が学び舎を巣立ちました。

式では、在校生を代表して新生徒会長の須藤康太さんが送辞を述べました。感謝の気持ちや明るい希望、伝統を受け継ぎ、新たな鮫川中学校の栄光への懸け橋となる決意を抱かせてくれる内容でした。それに対して、卒業生を代表し芳賀悠介さんが答辞を述べました。

（文・写真／鮫川中学校）



全校生による式歌

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ 案内

畜犬登録のお願いと狂犬病予防注射の実施

平成25年度畜犬登録および狂犬病予防注射を次により行います。

実施期間　4月23日(火)～26日(金)の4日間　※実施場所や時間などの詳細については、回覧文書でお知らせします。

対象　平成25年4月23日現在で、生後91日以上の犬

注意　①狂犬病予防注射の集合注射は年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。／②犬が死亡したときや犬がいなくなったとき、飼い主の住所が変わったとき、飼い主が変わったときも届出が必要となります。

問　村地域整備課環境係☎49-3196

外部被ばく線量を確認するために

県では、原子力災害による放射線の影響を考え、県民の皆さんの健康を長期的に見守るため、県民健康管理調査を行っています。

県民健康管理調査基本調査問診票では、平成23年3月11日から7月11日までの自身の外部被ばく線量の推計値を確認することができます。

また問診票を提出していない方は、「問診票の出前書き方相談会」を要望に応じて行いますので、ぜひご活用ください。開催は、土・日・祝祭日を除く午前9時から午後4時までの間で、1回当たり10人から15人まで対応できます。

詳しくは、県立医科大学県民健康管理センターまでお問い合わせください。

問　福島県立医科大学県民健康管理センター☎024-547-1786

こどもの読書週間「たくさん読んで大きくなあれ」

4月23日から5月12日までの20日間は「こどもの読書週間」です。「たくさん読んで大きくなあれ」を標語に、子どもたちに読書の楽しさを知らせ、正しい読書習慣を身に付けさせることを目的に実施しています。また、親にとっては子どもの読書の大切さやよい本を与えるための努力などについて考える機会となります。

家庭における読書環境を整えるためには次の3点が重要になります。／①幼児には父母が本を読んで聞かせてあげる／②子どもたちの身近にいつも本を置くことを考え、毎日たとえ短い時間でも本を読むことを推奨し、本を読むのを聞いてあげる／③父母自らが読書する姿を子どもたちの眼にふれさせる

問　村教育委員会教育課☎49-3151

8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

4月の担当は――

村学校給食センター

芳賀公美栄養技師



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX　0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館（歴史民俗資料館内）	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
軽自動車税
※納期限：4月30日(火)

information

バス通学利用者に定期券購入費を助成

村では、村内を走る生活路線バスの維持を目的に、通学利用者に定期券購入費を助成しています。この補助を受けるには役場に申請書を提出し登録する必要があります。対象となる方はぜひご利用ください。

対象者　村内に住民登録があり、定期券を購入しバスを利用する通学生

対象バス路線　福島交通株式会社「宝木経由鮫川線」（石川町行き）、「塙・鮫川線」（塙町行き）／村営バス「あおぞら」（棚倉町行き）

助成額　定期運賃の半額（50パーセント）を上限として助成します。片道定期券も同様に助成します。

定期券販売窓口　▼「宝木経由鮫川線」「塙・鮫川線」…福島交通株式会社石川営業所および棚倉出張所　※福島交通株式会社塙出張所では、定期券販売をしていません。▼村営バス「あおぞら」…役場住民福祉課窓口

問　村企画調整課企画振興係☎49-3115

募集

NHK学園通信講座受講者を募集

NHK学園では、生涯学習通信講座の受講者を募集しています。まずは、無料案内書をご請求ください。

講座内容　趣味・教養から語学・資格まで、幅広いジャンルの講座が200コース。通信講座で新しい趣味やスキルを身に付けます。

受講期間　3カ月～1年（講座によって異なります）

申し込み　無料案内書をご請求いただき、ハガキや電話、ファックス、ホームページから申し込んでください。

問　NHK学園☎042-572-3151／案内書請求フリーダイヤル☎0120-06-8881

催し

鮫川村サイクリングロードレース大会

主催　LinkTOHOKU（村共催）

開催日　4月14日(日)

場所　鹿角平観光牧場

内容・時間　①個人タイムトライアル競技…午前8時～正午／②チーム耐久4時間オフロードレース…午前11時～午後3時

大会では、村農産物や特産品を販売し村の魅力をアピールするほか、村出身の遠藤貴人さんが競技委員長を務めます。

詳細　LinkTOHOKU（http://www.link-tohoku.com/）



大会の様子（提供：LinkTOHOKU）

鮫川村公民館
平成25年度事業「1日1笑計画」

■小学生対象事業

【放課後子ども教室】

▶**日時**…毎週月曜日　午後3時～午後4時▶**場所**…鮫川小学校▶内容…遊び、読書、工作など

【特別講座】

▶**実施期間**…5月20日(月)～24日(金)、27日(月)、6月14日(金)、7月1日(月)、7月22日(月)～8月9日(金)、9月9日(月)、10月28日(月)、11月15日(金)、11月25日(月)～29日(金)

【キッズダンス教室】

▶**実施時期**…5月～7月（全7回）▶**場所**…村農業者トレーニングセンター

■一般対象事業

【自分みがき講座】

お裁縫▶**実施時期**…4月～7月（全5回）▶**場所**…村公民館

パステル画▶**実施時期**…7月～8月（全4回）▶**場所**…村公民館

Let's Cooking▶**実施時期**…9月（全2回）▶**場所**…村公民館

BBQを楽しもう▶**実施時期**…9月～10月（全2回）▶**場所**…鹿角平観光牧場

ごほうび講座▶**実施時期**…2月（全3回）▶**場所**…村公民館

※その他、要望のあった講座を開催予定です。

【登山】

▶**実施時期**…9月

【スキー・スノーボード】

▶**実施日**…1月25日(土)　▶**場所**…猪苗代スキー場

【京都大学交響楽団巡回演奏会】

▶**日時**…8月25日(日)　午後2時～▶**場所**…農業者トレーニングセンター

【村芸術鑑賞事業（落語・狂言）】

▶**日時**…10月31日(木)　午後1時30分～

【伝統芸能継承事業】

▶**実施時期**…通年（全12回）　▶**内容**…竹細工、しめ縄づくり、漬物づくりなど

※各事業の詳細については、改めて広報紙などでお知らせします。

問　**村教育委員会教育課☎49-3151**

April 4

㊡＝休日当番医　［歴］＝歴史民俗資料館　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［ほ］＝ほっとはうす・さめがわ　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
2 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**3** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日	**4** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**5**	**6**
9 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●入園式［こ］	**10** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**11** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**12** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**13**
16 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**17** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**18** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**19** ●心配ごと相談… 13:00～15:00［公］ ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］ ●農業委員会総会	**20**
23 子ども読書の日 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●畜犬狂犬病予防注射	**24** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●畜犬狂犬病予防注射 ●やまぶきの会… 10:00～15:00［保］	**25** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●畜犬狂犬病予防注射	**26** ●畜犬狂犬病予防注射 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**27**
30 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●軽自動車税納期限	**5/1** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**2** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**3** 憲法記念日 ㊡木村医院（矢祭町） ☎46-3528 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●鮫川ふるさと春まつり	**4** みどりの日 ㊡あらまちクリニック（棚倉町） ☎33-8018 ●鮫川ふるさと春まつり
7 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**8** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**9** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**10** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**11**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

2月届け出分・敬称略



鈴木（すずき）　楓彩（ふう）・女
平25．1．25生
住所…大塩
保護者…光・亜希子



鈴木（すずき）　翔大（かける）・男
平25．1．25生
住所…大塩
保護者…光・亜希子



井坂（いさか）　紘翔（ひろと）・男
平25．1．31生
住所…茅
保護者…広徳・友子

おくやみ

2月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
戸草	三瓶セツ子	2．1	80歳

人の動き

3/1現在・（　）は前月比

人口	3,980人	（＋ 6）
男	1,991人	（＋ 6）
女	1,989人	（± 0）
世帯	1,157戸	（＋ 3）

寄付寄贈

2月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…三瓶高弘(戸草)
■**ひだまり荘に[掛け軸(直筆)]**…小松幹夫(新宿)
■**ひだまり荘に[お手玉]**…味原キミイ(内ヶ竜)
■**ひだまり荘に[タオル]**…鮫川村老人クラブ連合会(青戸学男会長)
■**地域たすけあい募金**…鮫川村老人クラブ連合会(青戸学男会長)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■宇都宮大学のワークショップのなかで、ある大学生の方の言葉が印象的でした。「住民同士が持っている意見を出し、話し合うことから地域づくりが始まると思います」■おそらく村民の皆さん一人一人が「村を良くしたい」「こうすればもっと良くなる」などの考えや思いを持っていると思います。今回の特集が皆さんが意見を出し合う機会が増えるきっかけになればと思います。（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
	4/1 ●図書館休館(15日まで) ●トレセン休館日
7 ㊡大木医院(棚倉町) ☎33-2424 *第1日曜日は環境美化の日*	8 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●各小・中学校入学式
14 ㊡金澤医院(矢祭町) ☎46-2312 ●鮫川村サイクリングロードレース大会…8:00～／鹿角平観光牧場	15 ●トレセン休館日
21 ㊡東白川中央医院(棚倉町) ☎33-3263	22 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
28 ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468	29 昭和の日 ㊡塙厚生病院(塙町) ☎43-1145 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
5 こどもの日 ㊡和田医院(棚倉町) ☎33-2012 ●鮫川ふるさと春まつり *第1日曜日は環境美化の日*	6 振替休日 ㊡東舘診療所(矢祭町) ☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日

4 April 2013
平成25年4月1日発行（毎月1日発行）
第708号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5


結婚しました

Happy Wedding File_05

近藤偉士さん 菜摘さん

渡瀬字田尻／平成25年3月挙式

- **奥様の出身地はどちらですか？**・・・中島村です。
- **２人が知り合ったきっかけは？**・・・友人の結婚式で初めて会いました。その二次会で話して、親しくなったことがきっかけです。
- **出会ったときのお互いの第一印象は？**・・・（夫→妻）おとなしくてきれいな人だな。　（妻→夫）明るくて元気な人。
- **子どもは何人ほしいですか？**・・・男の子１人と女の子２人ほしいですね。私たちが３人兄弟ということもあって、３人はほしいと思います。
- **理想の家庭は？**・・・にぎやかでアウトドアな家庭にしたいですね。友達のような関係が理想です。

こちら 村長室

▼春は出会いと別れの時期です。「一期一会」という言葉がありますが、単なる出会いは「一期一会」とはいわないと思います。その出会いで人生に大きな影響を受けたときにいわれるのでしょう。▼年度始めにあたり、私も多くの出会いがあると思いますが、それらの出会いから学ぶ心を持ち続けたいと考えています。また、それと同時に相手へ発信できる人間や村になれたらと思います。▼鮫川村は小さい村ではありますが、居住する私たちの考え方や生活の方法、村のさまざまな政策などで多くの方々に「一期一会」の出会いがあったと思っていただけるように発信していかなければいけません。▼私たちの村が提案できるものは何なのか、足元をもう一度見直してみる必要があるのではないでしょうか。そして、村職員、村民の皆様それぞれに自信と誇りを持って取り組んでいただきたいと思います。

大樂勝弘